

# 環境の視点からの日中大学生のライフスタイルに関する研究

平成27年2月 望月 崇矢

## 要旨

### 目的

近年、地球温暖化が深刻な問題となっている。二酸化炭素排出量削減がうたわれている状況下で、大学生が個人としてどのような防止策を行えるのかを大学生のライフスタイルに関する研究と考察を行い、温暖化防止に貢献でき、且つ経済的にもプラスになる大学生のライフスタイルを提案する。

### 方法

日本の大学生260名、中国の大学生229名の大学生を対象にライフスタイルに関するアンケート調査を行った。そして、調査のデータに基づいて集計・分析をし、二酸化炭素削減に貢献、環境への負荷の少ない大学生のライフスタイルを提案する。

### 結論

日本と中国の大学生のライフスタイルはそれぞれ特徴があるが、地球温暖化の深刻性と防止の為には1人1人の行動が重要であると両国の学生の大多数認識している。しかし、実際には個人でもできる地球温暖化の防止策に取り組んでいる学生は両国共に少なく、環面に違いによりそれぞれの国で特徴的な問題が存在することが分かった。本論文で提案したライフスタイルを両国の大学生が実施することにより、学生一人一人のエネルギーの節約や資源の削減は小さいが、全学生を合わせること、膨大な量になることが考えられる。よって、低炭素型社会実現に貢献できると思われる。

指導教員 曹 西 助教授

